

創立九十周年

紀念誌

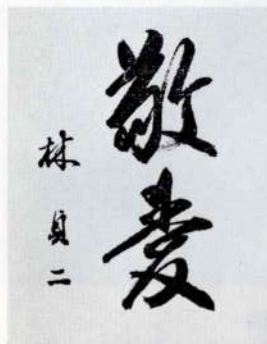
15
岐阜市立金華小学校

創立九十周年記念誌



岐阜市立金華小学校

校長先生の面影



林 貞二

林 貞二先生書



林 貞二先生
(現校長)



鷺見臣一郎先生



後藤弥三先生



鷺見臣一郎先生画

金華小学校々歌

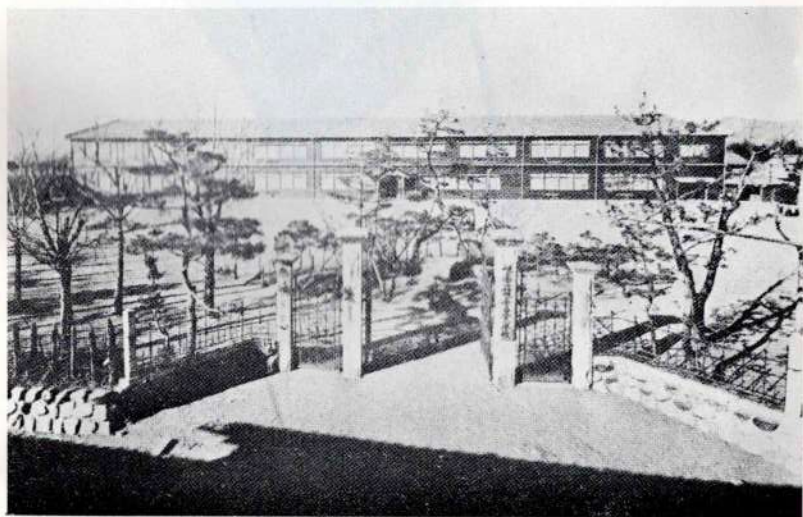
各務 虎雄 作詩
河野 信一 作曲

一、朝風わたる 金華山

松のこずえの 若みどり
千代のみさおの色深し
山の名を負ふ 学びやの
歴史は長く 世におう
高きいさおを われら仰がん

二、夕雲はゆる 長良川

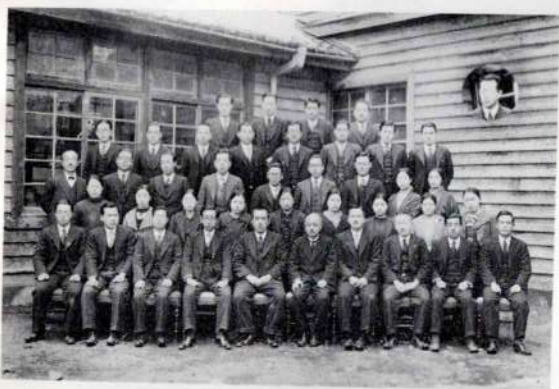
清き流れは 若あゆの
命やさしく 養えり
川の恵みに 栄え来し
文化の花を 末遠く
日々に新たに われら咲かせん



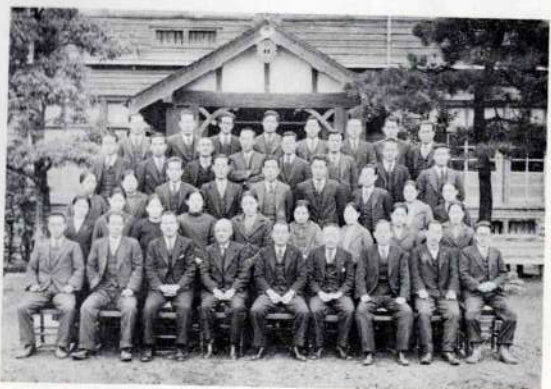
大正五年頃の校舍



大正六年三月
関谷校長先生
当時



昭和十一年三月
加藤校長先生
当時



昭和十四年三月
梅沢校長先生
当時

目次

題字…………… 学校長 林 貞二…表紙

【写真】現校舎

表題【写真】校旗

校歌【写真】大正五年頃の校舎

【写真】前々校長 後藤弥三
前校長 鷺見臣一郎 色紙
現校長 林 貞二 色紙

【写真】大正六年職員
昭和十一年職員
一四年職員

創立九十周年記念祝典を迎えて
運営委員長…………… 桑原 善吉…二
実行委員長…………… 丹羽 清二…四
学校長…………… 林 貞二…五

詩 九十年…………… 赤座憲久…七

昔をしのびて(誌上座談会)…………… 八

- 堀 喜三郎 川部 悦治
- 吉田 広 佐野友三郎
- 沢田富之助 浦木 一子
- 住井 富弥 小野 紀久子

九十周年を迎えて…………… 児童会長…三

金華小学校年代表…………… 三

【写真】校内めぐり…二二葉…………… 七

学校職員名簿…………… 三

記念祝典行事…………… 六

祝典行事役員…………… 元

編集後記…………… 三〇

創立九十周年記念祝典を迎えて



創立九十周年記念事業運営委員長
同窓会長 桑原善吉

私達の母校である金華小学校が、生まれてここに九十年ということである。この間は明治維新から今日迄日本の近代国家への歩みの歴史である。

私は明治四十一年当時長良川畔にあった富茂登尋常小学校に入った。それから三年生の時この富茂登学校は米屋町にあった岐阜尋常と合併して今の大工町に岐阜尋常として新築された校舎に移ったのである。

思えば随分遠い昔のことである。

先年八十周年記念の時、たまたま私はPTAの会長をしていたので昔を偲んだものである。その時将来の教育のためにと皆さんの意見とも一致したので校下で記念事業として図書館を寄附した。この

図書館に昔の本校出身である川合玉堂画伯に御依頼して富士の麗峰を揮毫していただいた。その意味するところは「少年よこの富士の如く清く高い理想を持って進みなさい」ということを今後果立って行く幾多の少年少女諸君に望みたかったからである。

今日、日本の教育は世界的にみても水準の高い国であるが、この歴史を考えてみる時決して偶然でなく当然であるといわねばならん。しかし、日本は大東亜戦争に敗北し、悲しい結末で終ったため六年間もの長い連合国の占領行政を受けた今日、この教育も大変りに変わった。今や日本は民主的平和的文化国家、福祉国家を目ざして進んでいる。教育も勿論そこに基礎を置いて進められているはずである。だが、この新しい教育を実施して十五年。その今日迄の結果は非常によい面もあり、又、反面新しく考えなおす必要もあるように思う。何と云うても教育は国の礎となる一番大切なことであるからこの機会に平素の考えの一端を述べてみた次第である。



創立九十周年記念事業実行委員長
P・T・A会長 丹羽清二

本年は当学校が創立されてから満九十年の年に当り、此の記念すべきよき日を迎える事ができました事は、私、P.T.A.の会長として非常に喜ばしき次第であります。

御承知のように当学校は今から十年前に我々の諸先輩が創立八十周年の祝典を立派に行なわれたばかりであり、十年後には創立百年祭が盛大に催される事と思ひますので、趣意書でも御説明申し上げました通りできるだけだけ質素ではありますが意義深い行事計画をたてまして同窓会、学校、P.T.A.の三者が一体となつて菊花薫る秋のよき日十一月十六日(土)に記念祝典ならびに記念行事を催す事になりました。

顧みまするに金華小学校の前身であります米屋町の大観舎、港町の富茂登小学校の創立されましたのは、学制頒布の翌年明治六年でありました。其の後明治の末期には両校が合併され、岐阜尋常小学校と改名され、たゞいまの大工町の位置に校舎が移され、昭和の初期に現在の金華小学校と改まつて今日に至りました。

此の間には何万人かの卒業生を送りました昔なつかしき木造の校舎は見る影もなく、たゞいまでは近代的な鉄筋の三階建校舎に建て変わり、又、プールも昨年皆様方の御援助によりまして県下で稀に見る立派なものができ上がりました事は非常に喜ばしい事であります。

然るに、ここにただひとつ過去の数々のできごと、思ひ出話をしのばせてくれるものがあります。それは今もなお、昔懐かしく校庭の片隅に「いちもうり」の木がそのまま立ち残っている事です。

此の学校を卒業して行かれた方は既に二万を超え、その方達は各界に偉大なる足あとを残し、又、今も多数の方が社会において活躍をしておられるのであります。

最後にP.T.A.の会員の皆様方、此の喜ばしき九十周年を期しまして当金華小学校を今迄以上の立派なものにしていただくようお願いいたします。

学校長 林 貞 二

米屋町名古屋奉行所跡に大観舎、富茂登に有義義校が、当時の人々の永遠にして雄大な希望と期待をになつて誕生してから今年で九十年、其の間校名も幾度か変わり校地校舎もまた幾度か其の姿をかえしたが底を流れる創立の精神は、校風となり、脈々として変わることがない。幸いにも本校は年と共に発展し、卒業生の数も二万人に垂んとし、社会の担い手とし或は輝かしい足跡を残し、或は現在活躍を続けているのである。

この輝かしい九十年の歴史をつぶさに繙いて見ると教育優先、教育尊重の気風が金華校下全域に溢れ学校教育の維持発展に偉大な力を發揮したことに着目せざるを得ない。明治二十九年の濃尾震災を

始めとし、大正四年の校舎全焼、昭和二十年の敗戦等をその主なものとする幾多の災害にも最少の傷手で守り続けられたのである。

時代思想の変遷は教育の内容にも方法にも大きな変化を与えたことも当然であるが、其の時代に適合した教育が、真剣に実施され、当を得た教育が今日まで続けられたと確信する。

戦前の教育と戦後の教育の変革は古今未曾有の事態であり、社会の混乱と共に教育界も大混乱に遭遇した。新旧両思想の相剋摩擦も年と共に落着きを取戻し、現在は新教育の軌道が確立する段階に到達した。その間にも本校の教育は、温故知新の校風に基づいて新奇をてらう愚を侵かさなかつたし、新教育の正しい実践にも躊躇はしなかつた。常に堅実な道を求めて鋭意民主教育の研究と実践に明け暮れた先輩校長、職員各位は立派であつたと思う。生命の尊厳に徹し、個人の素質を十分に磨き、個性を重んずることと同時に社会の進展に寄与する人格の育成が教育の根本目標であるが、それを具体化する日々の営み、それが我々の責務である。「教育は国民のものである」という民主主義の原則に従って、国民の教育的関心は一般的に高まって来たが、本校下は前にも述べた様にその点誠に申し分なしと思う。特に最近のPTAの活動は県下にその範を示しており、教育の実践面に大きな役割を果していることは感謝に堪えないところである。

学校を中心同窓会、PTAが一体となって催されるこの意義深い創立九十周年の祝典に学校長として巡りあう光榮と感激をしみじみ味うものである。

九十年

詩人 赤座 憲久

九十年。

金華の学び舎は

年々季節の朝を告げ続け、

校庭の大いちょうは

延何万人かのこどものために木陰をつくつた。

巢立っていった多くのともがらは、

いつも 郷愁を

大いちょうの葉がくれにかくまい、

心のささえをその根方に感じた。

九十年――。

木造の校舎は

鉄筋三階の白壁の建物になった。

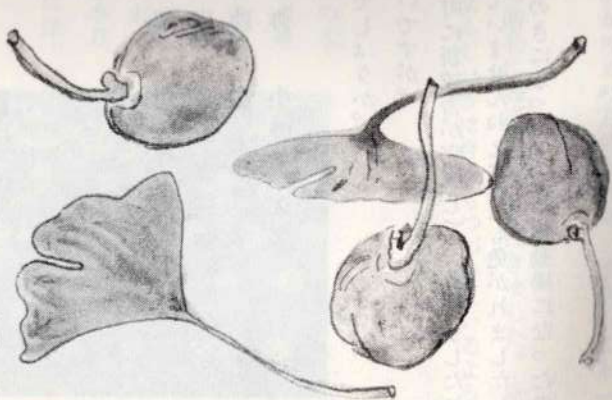
ああ、九十年。

伝統はかがやかしい未来をほらみ、

陽に照りはえておどる岐阜城の鯨が、

大いちょうの梢へ

祝福を投げかける。



ふゆき画

昔をしのびて

誌上座談会(順不同敬称略)

堀 喜三郎 川部 悦治
吉 田 広 佐野友三郎
沢田富之助 浦木 一子
住井 富 弥 小野紀久子

佐野 私達がこの学校で学んだころから五十年位たっているでしょうか。

川部 そうですね。ちいさかったので、たいした思い出はないですが。

吉田 一年生に入学した時は、米屋町でしたが、じきに大工町に新校舎が完成して、移りましたね。

佐野 静かな落ちついた学校附近の雰囲気は昔も今もかわっていませんねえ、戦災も免がれましたし。

吉田 たしか、銀杏の東にも民家がありました。全部立ちのきになって、今の運動場になったのです。

堀 私が一番年長のようなですね。カスリの着物にワラぞうりでしたからね。

吉田 私達も着物でした、その着物にも流行があって、編よりカスリの方が新式で、子供心にも「チヨボチヨボの着物」と好んで着たものです。

浦木 私達昭和のはじめの者は、祝日に大きな紋のついた黒の着物に海老茶の袴をはきました。そして紅白のおまんじゅうをいただき、喜こんだものです。おまんじゅうは今でもつづいているようにすね。

川部 男の先生は詰襟の洋服で女の先生は和服に袴姿でした。

堀 遠足の時は、ワラジをはいて竹皮に包んだオニギリを、白の木綿で作った風呂敷につつみ、背中にしょって行ったものです。運動会には、一番最後に全校が紅白に別かれ、くす玉割りをしました。

沢田 運動会が近づく度に早く上級生になりたいと思いましたね。

「白虎隊」がやれるからです。白のはちまきに手製のまちまちの刀をさして、はかまをはいた姿は我ながらいかすスタイルでしたな。

倒るるかばね、流るる血

と運動場に寝ると女の子なんか「ワーツ」ときたもんだ。男の子



チヨボチヨボの着物でオスマシ

としてこれをやらねば小学校へ来た甲斐がないと迄思ったものですよ。

浦木 私達は先生方の音楽にあわせて、行進やダンスをやりました。藤田先生のクラリネット、沢田先生のラッパ、太鼓は鶴飼先生で、テントの中で一生懸命演奏しておられました。

沢田 こんなこともありました。大正天皇が崩御されて暗い夜の校庭で、「地にひれ伏して天地に」とうたいました。

裏門前の文房具屋さんには、正ちゃんの冒険のうすっぱらな一銭本が並んでいたし、少年クラブの発行日が迫ると、授業中も何かワクワタして鞍馬天狗の続きが待ちどおしかったものです。

想い出はいろいろありますね。あのころはよく儀式がありまして、その度にあの長い長い勅語でしよ。文の意味がわからずに聞く程、たいくつなことはありませんからね。

隣の奴がズーツとはなをすすると、それを合図に、あちらでズーツ、こちらでズーツとはな汁交響楽でしたね。「ギョメイギョジ」でフィナーレと云うわけで……。

住井 私は戦争中の小学校生活を送りました。そのころは軍事教育一色で、食料、衣類等すべての物

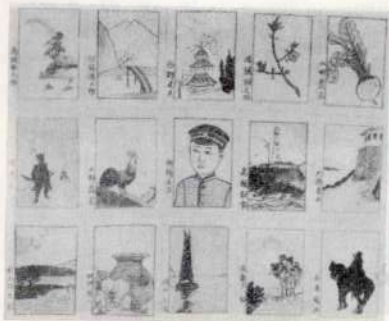
が不足していました。私達の一番大切な教科書、ノート、エンピツ等は配給でしたし、一組に靴一足の配給があるとクジ引きをして、分け合ったものです。

小野 私は卒業後十年になりますがやはりそうでした。靴など折角当っても古いのがないといただけませんでした。

住井 全校が炭俵を背負って金華山で落葉を拾って堆肥を作りました。夏休みは軍馬のほし草を集めたり、ひまわりの実を集めて軍へ送りました。運動場は三分の二が防空ゴーと芋畠で、毎日が防空演習、畠作業などで、おちおち勉強などしておれませんでしたね。学校から帰ると、町内の子ども皆で堆肥を作るための馬糞を高富の方まで取りに行ったものです。遠足はわらじ、弁当は芋でしたよ。

小野 私達の頃は、名ばかりの給食がありました。一、二年生の頃は主食はなくて、干しリンゴとか、干しぶどう等、三年生頃からバサバサのコッペパンができました。でも今の子どもなら、ようたべないかもしれませんね。だんだんおいしくはなりましたよ。

今年誕生した子供を連れて運動会を見に来ましたが、先ず校舎の立派になったのに驚き、プールの鳥小屋、グリーンベルト等……この子たちが入学するころは、もっともっと素晴らしくなるでしょう。



大正六年頃の卒業記念作品

九十周年を迎えて

児童会長 中 村 隆 夫

父が、「僕のうちは、大おじいさんも、おじいさんも、おばあさんも、皆、金華小学校の卒業生だ。」と話してくれました。

一口に九十年と言っても僕にはピンとこなかったが、話をきいて「なるほど古いのだなあ。」と、思いました。

おじいさん達が勉強した同じ学校で勉強しているのだと思うと、僕も負けなないようにしっかり頑張らねばとフアイトがわいてきます。

毎朝、児童愛護会のおじいさん達のおかげで元気に登校すると、グリーンベルトのある広い校庭では千二百人もの金華の子ども達が元気に飛びまわっています。

スマートな鉄きん三階建の教室では皆一生懸命、勉強にはげんでいます。

そのとなりには、すぐ立派なプールができ、夏がやってくると僕も、真黒に日焼けしてお友達といっしょに、水しぶきをあげ、プールいっ杯に泳ぎ廻るのが大好きです。

校庭にそびえ立つ大いちょうも、九十周年を迎え本当に立派になった金華小学校をうれしそうに、眺めているでしょう。

僕もあとしばらくで卒業ですが、こんなすばらしい金華小学校で六年間、勉強できたことをほこりに思いこれからも、金華小学校の名に恥じないように、しっかり頑張ってゆきたいと思っています。

岐阜市立金華小学校年代表

時代		学校名	校長名	教育の重点	主 事 柄
20	15				
明治		富茂登学校	有道義校	教倫館	<ul style="list-style-type: none"> ・林三益教師が中心で和漢の教科を教えた ・学制頒布 ・小学義校(大観舎)開設 ・小学義校(有道義校)開設
		伊奈波学校(男)	大観舎		
		岐阜学校	金華学校(女)		<ul style="list-style-type: none"> ・伊奈波学校 金華学校の名称を廃し岐阜学校と改称 ・教育令発布 尋常科、高等科、簡易科を設く ・教則改正に依り是迄上等、下等の二科を初等、中等、高等の三科とす ・学令未満の入学を禁ず ・小学校令発布に依り尋常高等の二校に分ける